

決算説明会資料

2017年3月期第2四半期 （2016年7月1日～2016年9月30日）

2016年11月4日

株式会社アイ・アール ジャパンホールディングス（6035）

IR Japan Holdings, Ltd.

本決算説明会資料は、決算情報の開示のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国またはそれ以外の一切の法域における有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。また本決算説明会資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本決算説明会資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本決算説明会資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本決算説明会資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

I . 2017年3月期 第2四半期業績報告

2017年3月期 第2四半期連結累計期間 決算ハイライト

	当第2四半期連結累計期間 2017年3月期(2016年4月—9月)			前第2四半期 連結累計期間 2016年3月期 (2015年4月—9月)
	金額 (百万円)	増減 (百万円)	前期増減率 (%)	金額 (百万円)
売上高	2,084	303	17.0	1,781
営業利益	699	352	101.4	347
経常利益	699	352	101.5	346
親会社株主に帰属 する四半期純利益	427	200	88.1	227

✓売上高は前年同期と比較して主力のSRコンサルティング業務に加え、投資銀行業務が着実に増加したため17.0%増加となりました。

✓営業利益は101.4%、経常利益は101.5%、親会社株主に帰属する四半期純利益は88.1%増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも四半期において過去最高となりました。

2017年3月期 第2四半期連結累計期間 サービス別売上高 実績

	当第2四半期連結累計期間 2017年3月期(2016年4月—9月)			前第2四半期 連結累計期間 2016年3月期 (2015年4月—9月)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期増減率 (%)	金額 (百万円)
IR・SRコンサルティング	1,617	77.6	26.9	1,274
ディスクロージャー コンサルティング	361	17.3	▲8.1	393
データベース・その他	106	5.1	▲6.6	113

✓コーポレートガバナンス・コードへの対応を本格化する企業が増える中、主力サービスである議決権関連のアドバイザリー業務に加え、取締役会評価等のガバナンス関連のコンサルティングも着実に増加いたしました。また、議決権確保やM&Aを担う投資銀行業務の拡大によりIR・SRコンサルティングは26.9%増加いたしました。

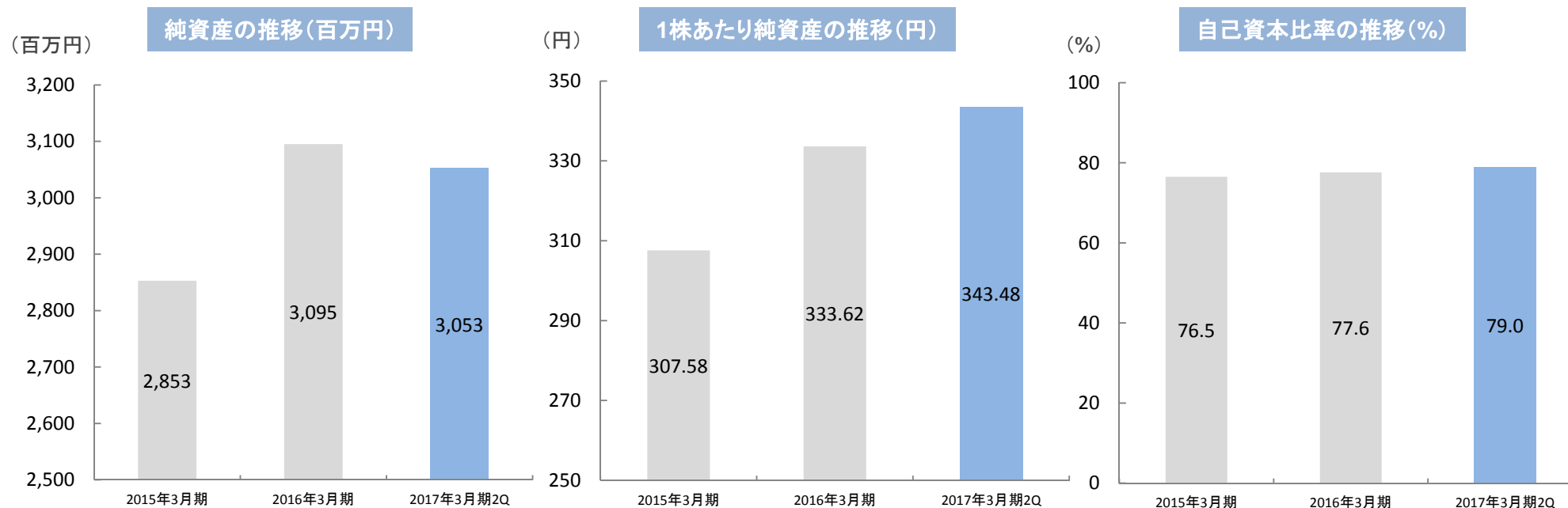
2017年3月期 第2四半期連結累計期間 費用内訳

(百万円)

内訳	費用科目	2017/3期 第2四半期 連結累計 期間	2016/3期 第2四半期 連結累計 期間	増減	主な要因
変動費 (売上原価)	外注費	226	260	▲33	・プロキシ・ファイト関連の受電業務の減少
固定費 (販管費)	人件費	676	662	13	
	減価償却費	100	92	8	・証券代行のシステム投資による増加
	地代家賃	102	154	▲52	・本社移転による二重家賃の解消
	その他	289	271	18	・バックアップセンター設立にかかる費用
変動+固定合計	売上原価+販管費合計	1,385	1,433	▲48	

2017年3月期 第2四半期連結B/Sの要点

- 当社グループの純資産は、2016年5月16日に自己株式の取得を行ったため、2016年3月期末に比べ41百万円減少し、**3,053百万円**となりました。
- 1株あたり純資産は、2016年3月期末の333.62円から9.86円増加し、**343.48円**となりました。
- 自己資本比率は、2016年3月期末の77.6%に比べ、1.4pt増加の**79.0%**となりました。
- 子会社アイ・アール ジャパンの2016年9月末時点の自己資本規制比率*は**450.8%**となりました。



自己資本規制比率*

子会社アイ・アール ジャパンは第一種金融商品取引業者であり、金融商品取引法に規定される自己資本規制比率の規制(120%以上を維持する義務)を受けております。

1. 上場企業のコーポレート・ガバナンス・コード対応へのサポート拡大

- 国内外の実質株主判明調査
- 継続した議決権関連のアドバイザリー業務
⇒議決権反対票分析・議決権情報の国内外の機関投資家への提供
- 取締役会評価
- 役員報酬コンサルティング(リストラクテッド・ストックの導入)
- 社外取締役紹介サービス

2. フィナンシャル・アドバイザー業務など投資銀行案件の増加

- 議決権の安定確保、プロキシ・ファイト支援
- 資本政策やM&AのFA業務

3. 証券代行業業

- 受託決定済企業数 41社 (2015年11月5日時点 36社)
- 管理株主数 263,641名 (2015年11月5日時点 195,054名)

4. 組織力の強化

- 全社コンサルタントのより効率的な活用
- 取締役会評価、役員報酬コンサルティングなど、プロダクトごとのチームを組成

取締役会評価

サービスの特徴

- 日本企業における取締役会実効性評価の支援実績が約50社(2016年9末時点)
- 欧米で取締役会実効性評価の豊富な実績を持つEdgerton Groupによる監修・支援のもとで実施
- 機関投資家の視点を重視した取締役会実効性評価の支援

役員報酬

コンサルティング

(リストラクテッド・ストック)

サービスの特徴

- 報酬委員会の立ち上げ、オペレーション支援
- 報酬設計に関するコンサルティング
- 株主の信任を得るためのアドバイス

社外役員紹介

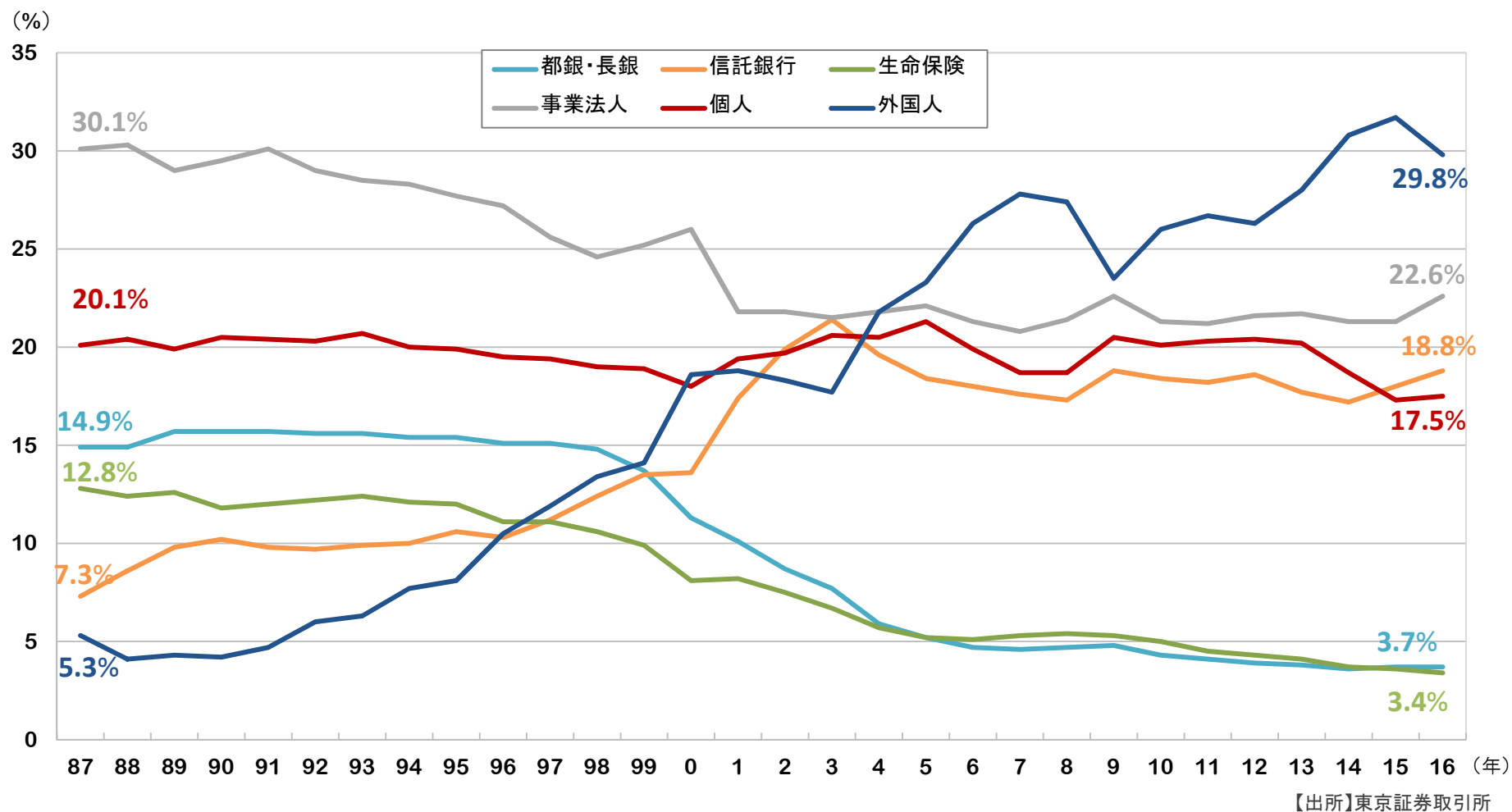
サービス

サービスの特徴

- 豊富な知識と経験を備えた人材を登録する独自の人材データベース
- 資本市場・株主からの信任を重視した候補者の選定

日本市場における投資主体別保有率の変遷

持ち合い解消に伴い、安定株主であった「都銀・地銀」「生命保険」の保有割合が減少し、機関投資家である「信託銀行」や海外機関投資家の「外国人」の保有割合が増加傾向にあります。「個人株主」に関しては約2割程度のまま推移しています。



IR・SRコンサルティングセミナー

個人株主から安定的な議決権確保を検討する企業や、敵対的株主に対する企業防衛について策を講じる企業が増加している現状を鑑み、9月に4回の「個人株主との対話と新しい個人株主の管理に向けて」と題した実務者向けセミナー（計4回）と9月21日に「新潮流を迎える敵対的買収に対する企業防衛について～今、日本企業が取るべき企業防衛策とは～」と題したIR・SRコンサルティングセミナーを開催いたしました。



実務者向けセミナー

「個人株主との対話と新しい個人株主の管理に向けて」

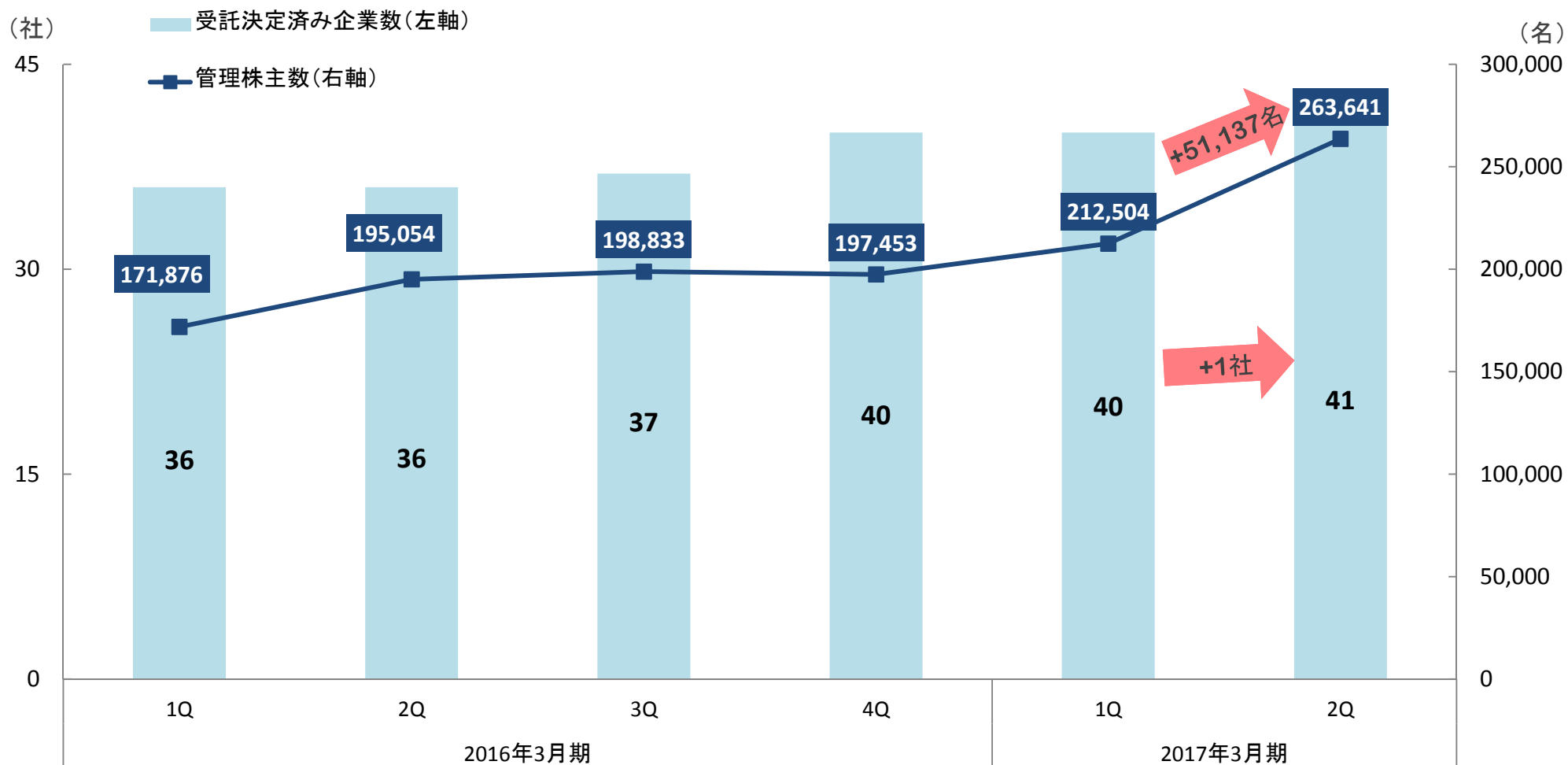


第21回IR・SRコンサルティングセミナー

「新潮流を迎える敵対的買収に対する企業防衛について
～今、日本企業が取るべき企業防衛策とは～」

証券代行事業の進捗

証券代行事業における受託決定済みの企業は41社、管理株主数は263,641名（平成28年11月4日時点）



受託決定済み企業数は前回に比べて1社増加、管理株主数は51,137名増加の263,641名となりました。

Ⅱ. 業績予想・株主還元

業績予想（2016年11月4日時点）

次期の見通しは、2016年5月13日時点での合理的な算定根拠を基に予想しております。

	通期業績予想	前期実績	増減額 (百万円)	前期増減率 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)		
売上高	3,800	3,469	330	9.5
営業利益	900	780	119	15.3
経常利益	900	779	120	15.4
親会社株主に 帰属する当期 純利益	514	445	68	15.5

2017年3月期 年間配当予想(2016年11月4日時点)

第2四半期連結累計期間の増収増益に伴い、当期の中間配当を10円から15円に引き上げることといたしました。これにより、年間配当額は33円となる予定です。

ただし、業績動向等を踏まえ、自己株式の取得を含めた機動的な対応を行ってまいります。

1株当たり配当金の推移

	中間	期末	年間
2017年3月期予想	15円	18円	33円
2016年3月期実績 (2016年5月13日発表)	10円	18円	28円
2015年3月期実績	8円	12円	20円
2014年3月期実績	8円	12円	20円

※1 当社は2013年11月27日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。上記配当金額は、株式分割を考慮した金額を記載しております。

※2 2015年3月期中間配当まではアイ・アール ジャパンの配当実績、2015年3月期期末配当以降は当社(アイ・アール ジャパンホールディングス)の配当実績および予想です。

Your Capital Market Intelligence

IR Japan



株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー

Your Capital Market Intelligenceとは、IR Japanが発行企業、投資家の皆様の資本市場でのリスク回避や多種多様なニーズへの対応をコアビジネスとし、独自のIntelligence(高度な情報を駆使して解決する能力)をフル活用し、持続的な成長を加速させることを示すコンセプトです。